

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 「なむ」を識別せよ。

春来（こ）なむ。

Q2. 「なむ」を識別せよ。

雨降らなむ。

Q3. 「なむ」を識別せよ。

月なむ清く照る。

Q4. 「なむ」を識別せよ。

死なむ。

Q5. 「なむ」を識別せよ。

物言ひなむ。

Q6. 「なむ」を識別せよ。

待つ人、明日は来（き）なむ。

Q7. 「なむ」を識別せよ。

春なむ待ちける。

Q8. 「なむ」を識別せよ。

風吹かなむ。

Q9. 「なむ」を識別せよ。

人々は早く帰りなむ。

Q10. 「なむ」を識別せよ。

鐘の音なむ遠く聞こゆる。

Q11. 「なむ」を識別せよ。

心安く眠らなむ。

Q12. 「な」を識別せよ（「なむ」と見比べよう）。

物言ひなば、咎めらる。

Q13. 「なむ」を識別せよ。

我れ往なむ。

Q14. 「なむ」を識別せよ。

知りなむ。

Q15. 「なむ」を識別せよ。

君なむ思ふ。

Q16. 「なむ」を識別せよ。

月、今しばし照らなむと思ふ。

Q17. 「なむ」を識別せよ。

空かき曇りぬ。雨も降りなむ。

Q18. 「なむ」を識別せよ。

われも、かの山の桜を見なむ。

Q19. 「なむ」を識別せよ。

雨止まなむ。

Q20. 「なむ」を識別せよ。

花咲かなむ。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 「なむ」を識別せよ。

花咲きなむ。

Q22. 「なむ」を識別せよ。

わが言ふことを、人も聞かなむ。

Q23. 「なむ」を識別せよ。

我が宿なむよき。

Q24. 「なむ」を識別せよ。

病重ければ、かの翁はほどなく死なむ。

Q25. 「なむ」を識別せよ。

使ひの者、急ぎ行きなむ。

Q26. 「なむ」を識別せよ。

子もすこやかに育たなむ。

Q27. 「なむ」を識別せよ。

我が宿になむ梅咲きける。

Q28. 「なむ」を識別せよ。

かの人は明日往なむと、われは思ふ。

Q29. 「なむ」を識別せよ。

われ、うきことをば、とく忘れなむ。

Q30. 「なむ」を識別せよ。

月の都へ帰らなむ。

Q31. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りける。

Q32. 「なむ」を識別せよ。

我れも死なむ。

Q33. 「なむ」を識別せよ。

言ひなむとすれど、声出でず。

Q34. 「なむ」を識別せよ。

故里の花、わが帰るまで散らで待たなむ。

Q35. 「なむ」を識別せよ。

雪降る夜なむ心細き。

Q36. 「なむ」を識別せよ。

急ぎ往なむ。

Q37. 「なむ」を識別せよ。

さる事を聞かば、人も涙を落としなむ。

Q38. 「なむ」を識別せよ。

梅の香、袖に移らなむ。

Q39. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ祭りある。

Q40. 「なむ」を識別せよ。

われ、早く立ちなむ。

Q41. 「なむ」を識別せよ。

われ、この君に仕へなむ。

Q42. 「なむ」を識別せよ。

鳥も鳴かなむ。

Q43. 「なむ」を識別せよ。

雨なむ降る。

Q44. 「なむ」を識別せよ。

死なむと思へど、生きながらふ。

Q45. 「なむ」を識別せよ。

友は、なほ待ちなむ。

Q46. 「なむ」を識別せよ。

旅行く人の、この川を安く渡らなむと祈る。

Q47. 「なむ」を識別せよ。

鶯なむ鳴く。

Q48. 「なむ」を識別せよ。

京へ往なむと思ひ立つ。

Q49. 「なむ」を識別せよ。

この雨は、ほどなく止みなむ。

Q50. 「なむ」を識別せよ。

心安らかに過ぎさなむ。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 「なむ」を識別せよ。

いと心細く、京へ帰りなむと思ふ。

Q52. 「なむ」を識別せよ。

鳥のこゑなむいとあはれなる。

Q53. 「なむ」を識別せよ。

雪深ければ往なむにも、足ふみがたし。

Q54. 「なむ」を識別せよ。

月隠れなむほどに。

Q55. 「なむ」を識別せよ。

わが思ふ人、今宵だに訪はなむ。

Q56. 「なむ」を識別せよ。

都の事なむ忘れざりし。

Q57. 「なむ」を識別せよ。

いざ往なむよ。

Q58. 「なむ」を識別せよ。

涙の落ちなむを、人に見られじ。

Q59. 「なむ」を識別せよ。

春なむ来にける。

Q60. 「なむ」を識別せよ。

迎への舟の、とく着かなむと待つ。

Q61. 「なむ」を識別せよ。

あはれ世の中なむかなしき。

Q62. 「なむ」を識別せよ。

死なむこそ、いみじけれ。

Q63. 「なむ」を識別せよ。

年月経れば、われもやがて人に忘れなむ。

Q64. 「なむ」を識別せよ。

我が君もすこやかにおはせなむ。

Q65. 「なむ」を識別せよ。

この川をば、音無川となむいひける。

Q66. 「なむ」を識別せよ。

かくてもありなむ。

Q67. 「なむ」を識別せよ。

いざ給へ、往なむ。

Q68. 「なむ」を識別せよ。

花の色、いとをかしくなむ見ゆる。

Q69. 「なむ」を識別せよ。

世の中、つねにのどかならなむ。

Q70. 「なむ」を識別せよ。

いとさまよく言ひなむ。

Q71. 「なむ」を識別せよ。

君なむかしこき人にておはする。

Q72. 「なむ」を識別せよ。

山深く往なむ。

Q73. 「なむ」を識別せよ。

鶯の声聞こえなむ頃。

Q74. 「なむ」を識別せよ。

雪深く積もらなむ。

Q75. 「なむ」を識別せよ。

月の都の人なむ、迎へに来る。

Q76. 「なむ」を識別せよ。

早く死なむと願ふ。

Q77. 「なむ」を識別せよ。

月もやがて入りなむ。

Q78. 「なむ」を識別せよ。

故里より便りもあらなむ。

Q79. 「なむ」を識別せよ。

雲井なむ遠き。

Q80. 「なむ」を識別せよ。

夜も更けぬ。われも今は宿へ往なむ。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 「なむ」を識別せよ。

このことなむ、げに世に語り伝ふべき。

Q82. 「なむ」を識別せよ。

あはれ、花も夢のごとくに散りなむ。

Q83. 「なむ」を識別せよ。

心ばへ深くおはせなむ。

Q84. 「なむ」を識別せよ。

木の葉の色づきなむのちに、また参らむ。

Q85. 「なむ」を識別せよ。

あれなむいみじき翁にてはべる。

Q86. 「なむ」を識別せよ。

われ、親を残して、いかでか先に死なむ。

Q87. 「なむ」を識別せよ。

御文遣はさなむ。

Q88. 「なむ」を識別せよ。

かかる有様を見なむ人は、いかが思はむ。

Q89. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りて、山も白かりける。

Q90. 「なむ」を識別せよ。

賢き人なむ世を捨つる。

Q91. 「なむ」を識別せよ。

我れひとり残されて、いかにしなむ。

Q92. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ心安く侍る。

Q93. 「なむ」を識別せよ。

この病にては、わが命ぞやがて尽きなむ。

Q94. 「なむ」を識別せよ。

死なむ命惜します。

Q95. 「なむ」を識別せよ。

人の心、変はらずもあらなむ。

Q96. 「なむ」を識別せよ。

故院なむかく仰せられし。

Q97. 「なむ」を識別せよ。

今宵は、われここに寝（ね）なむ。

Q98. 「なむ」を識別せよ。

宮、今日はここに泊まり給はなむ。

Q99. 「なむ」を識別せよ。

秋来れば、燕もみな去（い） なむ。

Q100. 「なむ」を識別せよ。

あはれと思ふ事なむ多かりける。